

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マルクスコラ山越教室			
○保護者評価実施期間	令和7年9月17日		～	令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和7年9月17日		～	令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した支援プログラム	生徒さんのニーズや課題に沿った内容で実施できるようスタッフで会議を行い協議をして決めている。	今後もバランス良く実施ができるよう、生徒さんからのニーズの聞き取り等行っていく。
2	丁寧なアセスメントや共感的な支援	生徒さんや保護者様との面談等では、丁寧に聞き取りを行い、気持ちの受け止めや教官等意識して行っている。	保護者様からの聞き取り内容と、生徒さんのニーズをどちらも大切にしながら、生徒さん主体での個別支援計画書の作成を意識していく。
3	外部機関との連携、コラボ	他事業所、学校、医療機関等とのコラボ連携を行い、プログラムの内容がニーズに合致したものになったり、通常で得られない機会となるよう工夫している。	今後も地域の各所と連携を行い、必要な時に別件の連携も円滑に行くようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置の問題	職員の退職や産休の後に採用となった職員が定着しない場合がある。また、採用活動をしているが純分な成果となっていない。入社希望の方の入社時期が数か月後のケースが多い。	事業所にて入植希望者の見学受け入れや、Instagram等での発信に取り組んでいく。
2	教室のスペースの問題	教室の空間が限られているため、狭いと感じる生徒さん、保護者様が多い。	すぐに取り組めることとしては、模様替えや整理整頓に日々努めている。 未定ではあるが、改善をするには移転等の対応でないと難しい。
3	児童クラブ等との交流	児童クラブとのコラボの機会が作れていない。	必要性を協議したうえで、実施の検討を進める。 現在は別の規格でインクルーシブ教育を推進しているため、ニーズがない場合には優先順位は低いままと思われる。